

令和6年1月22日

令和5年度 第3回読書教育推進委員会 分科会 議事録

1 分科会長挨拶

第二次渋谷区子ども読書活動推進計画について、策定まで日が迫ってきました。本日はパブリックコメントを受けましてご意見などをまとめていけたらと思います。渋谷区はICT教育を推進しています。児童・生徒の学力向上を図っていく両輪としてICT教育と併せて読書活動も推進していきたいと考えます。本日もご協力のほどよろしくお願いします。

2 第二次渋谷区子ども読書活動推進計画（素案）へのパブリックコメントについて  
（事務局）

12月1日から22日まで行いましたパブリックコメントについて、提出者は3人、意見総数は18件となっております。

あらかじめ、ご意見を目標（1）から目標（4）に分けておきました。いただいたご意見を検討していきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

基本目標（1）子どもの発達段階に応じた読書機会の充実

【ご意見 No.1】

公共図書館だけではなく学校図書館にりんごの棚を設置することも重要。

紙による読書・学習が苦手・嫌いだった児童が、自ら読書・学習できるようになるかもしれません。その最初の発見の場として学校図書館の役割があるのです。しかし、学校司書が積極的にバリアフリー図書の必要性を考えていなければなかなか導入には至りません。

（小学校委員）

・読書が苦手な子どもに対して、絵で読める本、さわる絵本などを学校図書館にも置かれれば、読書が苦手な子どもたちへのきっかけづくりになると思います。

（小学校委員）

・学校図書館に進めていくのは良いと思いますが、本の購入のことなどどう進めていくかだと思います。

（指導主事委員）

・一斉に進めていくなど方針が必要だと思います。

（図書館委員）

・進め方を読書教育推進委員会でまず検討していければと思います。

（事務局）

・進め方は検討するとして、学校図書館にりんごの棚を設置していくことを本計画に反映

していきたいと思います。

#### 【ご意見 No.2】

アンケート結果では、「電子図書が読みやすいかどうか」という問いに対して、「わからない」と一定数の児童・生徒が回答しており、利用促進として動画作成や出張授業を検討してみてもどうか。

(指導主事委員)

・説明書を読まなくても操作可能な簡便性があるものであれば、手に取りやすく利用促進になると考えます。

(図書館委員)

・小学校低学年の児童が画面をクリックするだけで読めるようなものを導入する必要があります。

(事務局)

・それでは、まず操作性が簡便であることの必要性があるとし、動画作成や出張授業については工夫していきます。としたいと思います。

#### 【ご意見 No.3】

渋谷区には多くの大使館が設置されているので、外国語の読み聞かせや多文化を知る機会の事業を連携して実施してみてもどうか。

(図書館委員)

・これまでも大使館との連携事業を本の展示などで行ってきた経過があります。引き続き連携を図っていきたいと考えています。

(事務局)

・すでに大使館と連携していることもあり、ご意見を参考にさせていただくこととしたいと思います。

基本目標（２）子どもの読書活動を支える環境整備

#### 【ご意見 No.4】

図書館の親子読書広場の整備について美術館や博物館で行っているような、指定された日は騒いでもOKの親子ウェルカムデー（キッズデー）や親子が来館しやすい時間帯に広場を設けてほしい。

(図書館委員)

・随時開放できることが望ましいが、館の規模等環境が違うので、時間帯設定など各館事

情に併せた運用を考えていきたいと思います。

(事務局)

- ・素案に記載のとおりで、ご意見を参考にしますとしたいと思います。

#### 【ご意見 No.5】

乳幼児親子の図書館利用促進のための環境整備として授乳室を設置してほしい。

(図書館委員)

- ・現在は、中央・西原・笹塚こども図書館には授乳室があります。その他の館は声をかけていただければご利用できるスペースを案内しています。既存の館の規模で新たに設置するのはなかなか困難ですが、今後、建設する施設には必須になると思います。

(事務局)

- ・授乳室については、素案に図書館配置の再編整備を記載していますので、その中で今後の整備について検討していくこととしたいと思います。

#### 【ご意見 No.6】

中・高校生の図書館利用の環境整備について、「サードプレイスとしての図書館機能」をキーワードとして環境整備を実施してほしい。

(指導主事委員)

- ・サードプレイスという言い方は一般的ではなく、わかりづらいのではないのでしょうか。

(分科会長)

- ・サードプレイスとした場合、どんな場所か説明が必要になるのではないのでしょうか。

(小学校委員)

- ・サードプレイスとは第三の場所という意味で、自宅や学校、職場以外の居心地のいい場所を指すようです。

(図書館委員)

- ・素案では「居場所」という表記をしていましたが、サードプレイスにすることで、図書館が安心して過ごせる居場所の一つとして強調できるようなも思います。

(事務局)

- ・本計画に反映していくこととし、サードプレイスの注釈を入れることとしたいと思います。

#### 【ご意見 No.7】

図書館 DX の推進として、抽象的なキーワードで本を検索できる AI を利用したシステムや、WEB 上で書棚を再現し来館することなく体験できるシステムを検討してほしい。

様々な方法で目的の図書にたどり着く仕組みを整備することが、子ども達の読書推進に繋がると考えます。

(図書館委員)

・AIを活用した検索については非常に有効と考えています。また、WEB上で書棚を再現するシステムについても、開館時間に限らず図書館が利用可能となり図書館活用の拡大につながる事が考えられます。

(事務局)

・計画の具体的な事業の中に、図書検索システムでAIを導入してレファレンスサービス支援をしていく記載をする予定です。また、WEB上で書棚を再現することの提案については、システム開発の情報を得ながら検討していくこととしたいと思います。

【ご意見 No.8】

図書館利用促進のためにショート動画やQRコードを取り入れたコンテンツの制作を検討してほしい。

(図書館委員)

・登録や利用方法について、電話で問い合わせをいただかなくても簡単にわかるような動画作成等を検討しています。

【ご意見 No.9】

図書館が居心地のいい場所でなければ利用者は増えないので工夫が必要。フィンランドオーディ図書館のようにわざわざ出かけたくなる図書館づくりをしてほしい。

(図書館委員)

・これまで図書館を利用していなかった方にも行ってみたいくなるような図書館づくりが必要と考えています。

(事務局)

・素案の図書館配置の再編整備に、渋谷区「新しい学校づくり」整備方針を踏まえ図書館の施設再編整備を検討することを記載しています。いただいたご意見を参考にするとしたいと思います。

【ご意見 No.10】

図書館配置の再編整備について、現在の蔵書キャパシティを鑑みると、令和10年度目標蔵書冊数を実現するには、区立図書館全体の配架計画を見直す必要があると考えます。

(図書館委員)

- ・区立図書館内の蔵書としては、書庫に限りがありますが、子育て施設や青少年施設等への団体貸出による配架を考慮し、その分を含めた増加目標値を出しています。

基本目標（３）子ども読書活動の重要性を広く普及・啓発

【ご意見 No.11】

来館が難しい親子のため、絵本の紹介や簡単な読み聞かせ方法、手遊び・わらべ歌などを動画にして読書啓発を推進してはいかがでしょうか。

(図書館委員)

- ・図書館ホームページに、読み聞かせの方法などの動画を掲載できるよう検討しています。

【ご意見 No.12】

りんごの棚は障がい者サービスの入口である。資料の利用方法など、サービスの考え方と実践が重要です。各図書館でりんごの棚の巡回イベントを開催し、何度もバリアフリー図書に触れる機会を積極的につくっていただくことを希望します。

(図書館委員)

- ・図書館にりんごの棚を設置したものの今後は活用されるようにしていく必要があると考えています。ご意見を計画に反映したいと思います。

(事務局)

- ・体験会を行うことで周知を図り、利用の相談対応を行っていきます。と計画に反映したいと思います。

【ご意見 No.13】

「りんごの棚」を象徴するポスターや掲示物をシブヤフォント様と連携して製作してシンボルマークとして周知を図るのはいかがでしょうか。

(小学校委員)

「りんごの棚」の周知はどのようにされるのでしょうか。同じマークで一斉に取り組んではと思います。

(中学校委員)

同じマークの方が取り組みやすいし区内に浸透するのではと思います。

(指導主事委員)

シブヤフォントのご協力をいただくと良いと思います。

**【ご意見 No.14】**

大人に限らず子どもにも分かりやすい案内やスタッフの対応が必要です。

(図書館委員)

・インターネットで本の検索ができますが、検索の仕方によって調べたいものにたどりつかない場合もあります。図書館には司書がいて本を探す、調べものの手伝いをするなどしており、子どもが司書に直接質問できることを周知していかれたらと思います。

(事務局)

・子どもの相談の充実について、計画に反映していきたいと思います。

**【ご意見 No.15】**

アクティブラーニングとして、図書館における調べ学習の推進支援や調べ学習コンクールの実施などをしてはいかがでしょうか。

(指導主事委員)

・「調べ学習」については、調べること自体が学習ではなく、調べる活動を通して学習するという考え方になってきています。インターネットやAIの普及で調べることは取組の一つであると捉えています

(図書館委員)

・提案いただいたご意見を参考に、学習コンクールの実施については学校の取組等と協議してまいります。としてはと思います。

基本目標（４）子ども読書活動推進のための協力体制

**【ご意見 No.16】**

教員、保育士等と図書館司書との連携について、教科書単元毎に役立つ資料のブックリストを作成して、教員・保育士等がタブレットやPCからいつでも確認でき、そのまま団体貸出依頼ができる仕組みを構築すれば連携の推進につながると考えます。

(図書館委員)

・ブックリストを作成しても、更新しないと古い情報になってしまいます。インターネット検索や区の蔵書情報が共有できるようなシステムを検討していきます。教員と図書館司書の連携ですが、気軽に相談できる関係性をつくっていくことが大切だと考えています。

**【ご意見 No.17】**

図書館ボランティアの育成について、渋谷区には大学・短期大学など教育施設が多く設置されています。大学・短期大学などの教育機関と連携した図書館ボランティアの育成を試みるのはいかがでしょうか。

(図書館委員)

・図書館ボランティアについて、高校生、大学生に活動いただけるように検討しています。

【ご意見 No.18】

図書館の障がい者サービス員の育成や研修会を設けることも必要。研修会は座学だけではなく実際に資料に触れるための体験会も有意義です。

(図書館委員)

・障がい者サービス協力員の育成にあたっては、さわる絵本手作り講習会などにより障がい者サービスへの理解を促進していきます。また、図書館職員も障がい者サービスに関する研修等資質向上に努め、研修、先進事例や体験により最新の情報を捉えて対応していきます。

(事務局)

・障がい者サービス協力員の育成、図書館職員の資質向上について、本計画に反映していきたいと思います。

### 3 計画策定スケジュールについて

本日の分科会では、パブリックコメントで出されたご意見に対して、区の考え方の方向性を検討しました。第4回読書教育推進委員会に本日の検討案を提示し、区の考え方としてまとめていきたいと思っています。

今後のスケジュールは以下のようになっております。

1月31日(水)～2月9日(金) 各所管の事業調査

2月27日(火) 第4回読書教育推進委員会(計画検討)

3月15日(金) 公開予定

以上で、第3回読書教育推進委員会分科会を終了いたします。

本日はありがとうございました。